

## SSI 学会誌編集委員会 2014 年度第 3 回委員会 議事録

日時：2014 年 12 月 13 日（土）11:00～12:00

場所：中央大学駿河台記念館 650 号室

出席者(敬称略)：

橋元良明[委員長] (東京大学)、遠藤薫[副委員長] (学習院大学)、櫻井成一朗[副委員長、英文誌主任] (明治学院大学)、今田寛典 (広島文化学園大学)、大國充彦 (札幌学院大学)、(以下 50 音順)、伊藤賢一 (群馬大学)、岩井淳 (群馬大学)、河又貴洋 (長崎県立大学)、北村智 (東京経済大学)、金相美 (名古屋大学)、是永論 (立教大学)、関谷直也 (東京大学)、服部哲[ネットワーク担当] (駒澤大学)、森田均 (長崎県立大学)

欠席者(敬称略)：

小笠原盛浩 (関西大学)、岡田安功 (静岡大学)、岡田勇 (創価大学)、北村順生[副委員長] (新潟大学)、黒須俊夫 (国士舘大学)、小郷直言 (大阪大学)、五藤寿樹 (日本橋学館大学)、後藤玲子 (茨城大学)、田中秀幸 (東京大学)、野田哲夫 (島根大学)、松下慶太 (実践女子大学)、山本佳世子 (電気通信大学)、吉田純 (京都大学)、吉田寛 (静岡大学)  
(文責：関谷)

### 【報告事項】

#### 1. 学会誌発行状況

橋元良明委員長より、9 月 30 日に 3 巻 1 号が刊行されたことが報告された。

3 巻 2 号は、担当の北村委員より、現在、原著論文 1 件が掲載決定したこと、今年のシンポジウム報告が 1 件掲載される予定であること、受賞報告が 6 件、ワークショップ実施報告 2 件、研究会報告 1 件が受領済みであること、現在、学会フォーマットに合わせて編集中であり、おおよそ 50～60 頁前後になる予定であることが報告された。

3 巻 3 号は、担当の関谷委員より、依頼推薦論文 4 本中 2 本受領済みであり、2 本は督促中である旨が報告された。

英文学会誌については、担当の櫻井副委員長より、2014 年 11 月に 7 号が刊行されたことが報告された。また、8 号の投稿申込が 1 件であり、引き続き募集している状況であることが報告された。

#### 2. 第 4 巻 1 号について

第 4 巻 1 号の編集長は中森広道会員、森田均委員が担当する予定であることを確認した。

### 【審議事項】

#### 1. 前回議事録確認

前回 2014 年度第 2 回編集委員会 (2014 年 9 月 21 日) の議事録を確認し、承認された。

## 2. 二重投稿論文について

橋元委員長より、本学会で受理した投稿論文のうち、査読過程において二重投稿と判明した論文があったことの報告があった。審議の結果、規定違反なのでD判定とし、著者には投稿規定違反であるという理由を明記して、査読結果を返すこととした。

## 3. 第4巻2号の和文雑誌編集長

第4巻2号について、新たに柴田邦臣会員（大妻女子大学）、松本早野香会員（サイバー大学）に新たに編集委員就任を依頼し、編集長を担当してもらう旨を確認した。柴田会員へは橋元委員長より、松本会員へは遠藤副委員長より編集委員就任を打診することとした。

## 4. 4巻1号以降の特集

### (1) 特集「ビッグデータ、オープンデータ」:

前々回の編集委員会において、2014年6月のシンポジウムのテーマ「ビッグデータ、オープンデータ」について公募による特集を組むことを審議したこと、現在、募集が行われていないことが確認された。4月末締切で原稿を公募することとし、簡単な募集要項を橋元委員長がまとめて、服部委員にホームページに掲載を依頼することが確認された。原稿は4巻2号（2015年12月末）以降に掲載していくことが確認された。

### (2) 4巻1号以降の特集

#### ○特集「選挙」

4巻2号(2015年12月)掲載を目標に、2015年3月末締切で原稿を依頼することとした。原稿依頼先に関しては橋元委員長が検討することとなった。

#### ○特集「世論」

4巻3号(2016年3月)掲載を目標に、2015年6月末締切で原稿を依頼することとした。原稿依頼先に関しては遠藤副委員長が検討することとなった。

#### ○特集「メディア」

5巻1号(2016年6月)掲載を目標に、2015年12月末締切で原稿を依頼することとした。原稿依頼先に関しては橋元委員長が検討することとなった。

#### ○特集「ジェンダー」

5巻2号(2016年12月)掲載を目標に、2016年3月末締切で原稿を依頼することとした。原稿依頼先に関しては金委員が検討することとなった。

原稿の集まりが順調な場合、掲載号を前倒しにすることもある。

以降、「文化」「地域」などのテーマも検討する。

## 5. 今後の編集委員会体制

橋元委員長より、複数人から編集委員辞退の申し出もあることから、若干名、編集委員会の入れ替えを行うことについて提案がなされ、了とされた。

なお、岩井委員より編集委員の依頼など含め、編集委員会の事務局を作るべきとの提案がなされた。橋元委員長より、申し送り事項として、新体制の委員長に検討していただくこととして了とされた。

## 6. 公募型研究会の研究成果の掲載について

橋元委員長より、研究活動委員会で行われている公募型研究会の研究成果の一部または全部を学会誌に掲載することについて提案がなされ、了とされた。

また、次回（来年）からの公募型研究会の募集の際に、学会誌に研究会報告を掲載することを義務とするよう記述していただくことを研究活動委員会に依頼することとした。

## 7. 機関レポジトリへの転載について

橋元委員長より、是永会員の所属する立教大学図書館より学会誌掲載論文を機関レポジトリに掲載したいとの申し出があり、この取り扱いをどうすべきかについての審議依頼がなされた。

櫻井副委員長より、著作権（頒布権、公衆送信権など）は社会情報学会に委譲されていること、著者の判断で他の媒体等への掲載は妨げないが学会に対して報告義務があることが確認された。規定に従って、それぞれのケースにおいて著者本人が判断すること、著者本人から学会に報告してもらえさすむことが確認された。

なお会員の死亡後の著作権の扱い、退会後の著作権の扱いについては、著作権の処理は難しくなることから、これらについては適宜判断していく必要があることが確認された。

## 8. ロゴマークについて

櫻井委員より、新しいロゴマークを学会誌の表紙（1頁）と奥付（最終頁）に入れることが提案され、了された。岩井委員より、今後の編集において、ロゴマークのデザイン保持については取扱いを注意するよう説明された。**（追加）なお、この詳細は理事会にて議論される。**

## 9. 団体会員への雑誌の送付

岩井委員より、本学会誌がオンラインジャーナルとなって物理的な「雑誌」現物はなくなったが団体会員には物理的な「雑誌」現物を送るべきではないかと五藤委員より提案があったことが紹介された。審議の結果、団体会員に掲載 URL を送っていただければ問題ないとして、団体会員に送るために物理的な「雑誌」現物を作成する必要はないと確認された。

### 【その他】

#### 1. 学会論文執筆の勧誘について

研究発表優秀賞受賞者に対して推薦論文の原稿執筆を依頼すること、優秀発表とは別に学会大会の自由論題のすべての司会およびコメンテーターにメール等で優秀な発表者を推薦してもらい、編集委員会から原稿投稿を依頼・勧誘するという前回の議論を再確認した。

#### 2. 原稿依頼

服部委員より、12月14日に駒沢大学で開催される「若手カンファレンス」においても、登壇者に執筆依頼を行う旨が確認された。

以上